

珈琲の未来をちょっと真面目に考える^{パート}2

荒田珈琲
新聞
Vol.47
2022.4.28(木)

珈琲豆
コラム
Special

昨年の夏に Vol.34 で特集したコラムの続編です。あれから珈琲をめぐる情勢はどうなったの? という、気になる話題を店主が語ります。

つまるどころ... 状況は昨年より厳しくなり、世界的なコーヒー豆の価格高騰は右肩上がりが続いています。生豆の仕入れは過去に例を見ない短期間での値上がり幅でおまけに品薄。珈琲屋としてはシビアと言わざるを得ません。



市場の混雑と不安定な物流費の重さなどから術障があると、しばらくの間相場は下降は期待薄です。うへん... 困りましたね。



コロナ禍からはむしろ景気回復傾向と言われていたが、日本は慎重さゆえに欧米諸国よりもだいぶ後れを取った状況になっています。そこに加えて、ロシアによるウクライナ侵攻が大きな追い打ちを与えました。

ロシアは農業用肥料の生産国で、その輸入に依存してコーヒーを栽培している国は少なくありません。ロシアへの経済制裁で肥料の流通が止まれば生産国は頭を抱えてしまい、栽培が困難になればコーヒー豆も生産されずより高騰するという負のスパイラルが目の前に迫っています。どんな理由があろうと戦争が正当化されることはありませんが世界の国々は持ちつ持たれつ繋がり続けていることも実感します。



もう一つ問題が!! ロシアもウクライナも小麦の大輸出国だから、現在の経済制裁と生産不可能な状況が来年以降どう響くのか戦々恐々です。輸入・国産どちらも、小麦粉の価格がさらに数回は上がるのではないのでしょうか

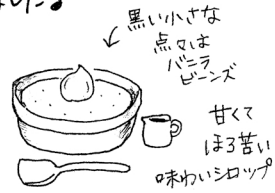
「頑張れるところまで頑張る!」を合言葉に、我々も創意工夫と腕まじりでサービスを維持していますが、この状況が長く続くようであれば、まかれる神がなくなってしまうため、オペレーションや運営の見直し、価格改定、新メニューの開発など、必要なことを日々検討・試案しているところです。変更の際にはご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力を賜われますと幸いです。何卒よろしくお願いたします。



珈琲が高級な嗜好品とならず、いつもの一杯をおいしく飲める日常が当たり前の世の中であってほしい...!! 町の珈琲屋の願いです。今日も明日もお客さまに誠実に、真面目に精進あるのみです。

New 「珈琲屋のプリン」が新しくなりました♪

バニラとミルクをふんだんに使って、初代よりもリッチで、リッチやわらかに仕上げました。生クリームと特製珈琲シロップを添えて、お好みで味の足し算をお楽しみいただけます。これから季節のおすすめスイーツです。



5月のお休み
2(月)。
9(月) 10(火)。
16(月) 17(火)。
23(月)・30(月)

* 第2・3週に連休をいただきます。